

授業科目名	看護倫理学		担当教員	足立 智孝	科目ナンバリング NM466
必修	開講年次：4年前期	単位：2単位	授業形態：演習30時間		

【授業概要】

看護師が臨床場面で遭遇する倫理的問題に気づき、理解し、またその対応方法を修得するために、生命倫理学で展開されている倫理原則や理論、方法論、代表的な倫理事例および医療や看護場面で生じる日常的な倫理問題を提示する。また講義で修得した知識に基づき、3年次の臨地実習で学生が経験した事例について倫理的・法的・社会的な観点から整理する。

【授業目的・目標】

〔目標〕

1. 倫理学の理論、倫理原則、方法論の基本的な知識を修得できる。
2. 看護専門職としての倫理的責務を理解できる。
3. 臨床現場で生じる倫理的問題に気づくことができる。
4. 臨床現場で生じる問題を倫理的・法的・社会的な観点から整理することができる。
5. 倫理的諸問題に対する意見を述べることができる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] イントロダクション：「倫理学」、「生命倫理学」から「看護倫理」へ
- [02] 看護倫理の考え方1：看護専門職と自己の看護観
- [03] 看護倫理の考え方2：倫理綱領と専門職
- [04] 看護倫理の基本概念1：徳の倫理と原則の倫理
- [05] 看護倫理の基本概念2：インフォームドコンセント、看護アドボカシー
- [06] 倫理問題の検討1：人権擁護に関わる薬害問題
- [07] 倫理問題の検討2：生命の始期に関わる倫理問題(生殖医療)
- [08] 倫理問題の検討3：生命の質に関わる倫理問題1(遺伝子・ゲノム医療)
- [09] 倫理問題の検討4：生命の質に関わる倫理問題2(臓器移植医療)
- [10] 倫理問題の検討4：生命の終期に関わる倫理問題(安楽死と尊厳死)
- [11] 倫理事例の分析1：事例検討のルールと四分表による分析
- [12] 倫理事例の分析2：四分表による分析
- [13] 倫理事例の検討1：4 STEPS 法による検討1
- [14] 倫理事例の検討2：4 STEPS 法による検討2
- [15] 倫理事例の検討3：期末課題の検討

【教科書】

特に指定しない。配布資料を用いる。

【参考書】

1. 服部健司・伊東隆雄編(2018). 医療倫理学のABC 第4版, メジカルフレンド社
2. 宮坂道夫(2016). 医療倫理学の方法, 医学書院
3. 小西恵美子編(2021). 看護倫理 改訂第3版, 南江堂
4. フライ, メガン-ジェーン・ジョンストン(2010). 看護実践の倫理 第3版, 日本看護協会出版会

【評価方法・評価基準】

授業課題レポート(20%)、中間課題レポート(30%)、期末課題レポート(50%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された課題を行うこと。(30分)

事後学習：講義資料を基に学習内容の復習を行うこと。(1時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅵ. ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートはコメントをつけて返却する。

【備考】

特になし